

国際ロータリー第2770地区
第11グループ

川口 RC
Weekly Report

No. 11

● **定例会**
第2912回
2019年10月5日配布

● **事務局**
〒332-0012 川口市本町 1-18-5 NTT ビル 1F
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



Rotary



2019-20年度
会長：渡部 行光
幹事：平田 修一

Topics & Information

●ありがとうございました。

9月17日に川口リリアにて、川口西ロータリークラブ主催で献血が行われました。ご協力ありがとうございました。

- 芝崎眞理会員 他2名(ご家族)
- 寺田美津司会員
- 大竹 純会員 他2名(TRクリエイト)
- 小倉克徳会員
- 鈴木慎一会員、秋元僚会員(ローターアクト) 他8名(野村證券)
- 中村将之会員、岩淵友里会員(ローターアクト) 他2名(水戸証券)
- 松井 実会員 他1名(JTB)
- 加藤咲子会員

●派遣学生月例報告書 9 月分

派遣学生の齊藤美幸さんから月例報告が届きました。

1)健康状態:
最近オーストリアも冷え込み始めて、朝は冬用のジャケットを着て登校しています。時々、白い息が出る程冷え込みます。体の調子は極めて良好で、風邪一つ引かず元気に過ごしています。今月の頭から学校が始まり、朝が本当に早くて驚いています。私の家から学校まで少し距離があり、朝は5:00に起き6:15のバスに乗らなくては学校に間に合いません。なので、夜は10:00に寝ています。これぞ早寝早起きです。学校が朝早く始まる分、終わるのも日本の高校に比べて早いので午後は自分の時間に使えて嬉しいのです。

2)通学・勉強状況:
上記に記載した通り、今月から学校が始まりました。日本にいた頃からバス通学はTHE外国の高校生みたいで私の憧れでした。今その夢が実現していて、朝が早いことなんてどうでも良いと思える程嬉しいのです。私の学校は普通の高校ではなく、10~18歳までの子供が同じ学校で勉学に励んでいます。もちろん学年は別で8学年まであります。私は7学年です。ホストシスター二人と同じ学校なのですが、初登校の日は本当に緊張しました。自分のクラスに入るまで勇気と時間が必要で、冷や汗が止まりませんでした。私のクラスは英語クラスで、いくつかの授業がすべて英語での授業です。オーストリアにいながら物理を英語で学んだり、オーストリアの歴史を英語で学ぶのは新鮮で楽しかったです。クラス全員が英語で自分の意見を持ちそれを発言し、講義しているのを見て英語教育がとても進んでいるように感じられました。自分もこれくらいレベルの高い人間になりたいと良い刺激をもらえました。また私自身のドイツ語力は先月よりも確実に伸びています。初めてお会いした先生方にドイツ語で質問されても、なんとなく意味が理解でき、ドイツ語で返すことができる程度ですが毎日成長が感じられ嬉しく思います。

3)家庭生活:
家庭生活は特に変わりはなく、良好です。10月からホストブラザーのジェイコブがハンブルクの大学に行ってしまう。また長女のエミリーも来月から獣医師という将来の夢を叶える為大学近くのアパートに引っ越してしまいます。七人家族から五人家族になるので私はきっと彼らが去った後、恋しく思うでしょう。エミリーは私のドイツ語の先生です。私にたくさんのドイツ語を教えてくれ、また毎日宿題を出してくれます。来月からそれがなくなるのは悲しいです。また、この間一年に一度グラーツで行われるお祭りにホストファミリーと参加して来ました。そのお祭りは皆がオーストリアの伝統衣装を身にまとい歌って踊るものでした。初めて見るその光景がとても新鮮でした。オーストリアの祭はこういう感じなのかと直に感じられ良い思い出になりました。

4)ロータリーの行事参加:
今月は地区の行事であるハイキング週末に参加しました。人生初めてのハイキングは意外にも楽々登れました。また山頂は気候の変動が激しく体調管理が大変でしたが、各々持ち寄った各国の国旗と共に山頂で写真を撮ったのは印象深いです。またインバウンド達との絆は深く毎日会いたいと思うぐらいに彼らが恋しくなりました。そしてその2週間後にはホストクラブの行事であるクロアチアとのShort time exchangeに参加しました。クロアチアの現地の高校に2日ほど通いクロアチアのホストファミリーと一緒に過ごしました。クロアチアはクロアチア語で何一つ理解できませんでしたが、クロアチアでの生活はとても楽しかったです。ダイビングをしたり、映画を見たり、博物館に行ったりと現地の友達もたくさんできました。何よりクロアチアでは一回の映画の料金が約250円くらいでお手頃価格でした。そしてホストマザーが作るご飯が美味しく食べすぎたので、オーストリアに戻って運動しようとして心を決めました。現地の友達とは交換短期留学なので彼らがオーストリアに来る時にまた会うことが出来ます。その日が待ち遠しいです。

5)その他:
最初私にとって英語クラスは英語もドイツ語も学べるなんて一石二鳥じゃないかととても嬉しかったのですが、いざそのクラスで過ごしてみると自分よりも遥かに高い英語力の授業を理解できず、またクラスメイトはあまり私に関心がなく、私から話しかけたら応答してくれる程度で相手から話しかけてくれることはありませんでした。そしてこのクラスで友達ができる気がしませんでした。ある授業ではみんなと英語でディスカッションしながら話を進めて行くというものが、私はそれについていけず、それを見計らって声をかけてくれる友達さえいないこのクラスがとてもストレスでした。でも行動に移さなきゃ何も変わらないと思い、校長先生に他のクラスも体験したいと言ってみると校長先生はすぐに私を受け入れてくれ『他のクラスも体験して、自分がこのクラスに1年間居たいと思える所に行きなさい』という風に言ってくださいました。(本来は1年間英語クラスと決まっていた、他のクラスの予定などありませんでした。)正直、英語もドイツ語も一番両方伸びるのはこのクラスだと明白でしたが、それを我慢したところ一年の半分以上を占める学校がストレスなのは最適ではないと考えました。私のわがままを聞いてくださった校長先生には感謝しかありません。今は英語クラスではなく自分が居たいと思える他のクラスに出会い、学校の友達もできました。今はそんな学校が楽しいです。行動に移すことで自分から未来が開けるのだと確信できた瞬間でした。



次回予定 10月10日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム
点鐘/12:30

卓話:「SDGsを知ろう」SDGs支援機構
河上伸之輔 氏

次々回予定 10月17日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム
点鐘/12:30

卓話:「御朱印と神社」
峯ヶ岡八幡神社 宮本洋平 様

あいさつ

先週の金曜日からラグビーワールドカップが始まりました。その初戦の日本対ロシアをパブリックビューイングで見ようということで、新入会員歓迎会を兼ねて、浦和ワシントンホテルの1階で観戦しました。ラグビーもあまりなじみのないスポーツと思っている人も多いと思いますが、やはりワールドカップで日本が活躍するかもしれないということで盛り上がっています。ともかく日本が勝っていいスタートを切りました。1か月半ぐらい続くそうです。

このワールドカップの話で、テレビを見ていたら、誘致の功勞者として、奥克彦さんという人の話がありました。時代はさかのぼりますが、彼は2003年11月29日赴任先のロンドンから復興支援のためイラクへ長期出張中に車で移動中に銃撃に会い非業の死を遂げた外交官です。もとはラグーマンとして早稲田で活躍し、途中で外交官試験に挑戦し、外交官になったという、なかなかの人物です。ロンドン着任前にワールドカップ誘致に奔走し、森喜朗首相にも協力を依頼したりしましたが、存命中はその願いはかないませんでした。その後の活動において奥さんのロンドンでのラグビー人脈が大きな力になったとのことです。番組ではその功勞者ということで、森喜朗元首相や岡本行夫外交評論家が奥氏のことを話していました。

テロの可能性が高いとのことですが、いまだに銃撃事件の解決はされていません。ワールドカップもこのような人たちの努力によって、いま日本で行われているということです。

さて、そのラグビー観戦に先立つ2時間程度前、地区の職業奉仕セミナーに参加してきました。職業奉仕の理解について決して十分ではなかったことがわかる研修でした。講師は本田博己福武書店から群馬ヤクルト販売に移り社長から現在は会長という人で、前橋RC所属、2840地区ガバナーを2013-2014に努められました。ここで皆さんに明快に説明はできませんが、職業奉仕を、ただ自分の仕事をしていけば社会の役に立つのだから、それが職業奉仕だと考えるのはいいわけだと言っていました。職業には奉仕の理念をもつ高潔性が必要である。そしてロータリーの活動はどの奉仕活動をするにも、この奉仕の理念が一般的に適用される、とのこと。なかなか興味深い話でしたが、まだよく説明できません。

さて、そして翌日、財団部門セミナーがありました。そこで改めてポリオ根絶の経過と10月24日のポリオデーに地区あげて活動をするということ、財団の補助金利用のガイダンス並びに実践例などのセミナーをうけました。話の流れとしては、今利用している地区補助金の割合を減らして、グローバル補助金を利用して、より大きな事業に挑戦してほしいとのこと。

いま、川口クラブでもグローバル補助金をつかってネパールに乳がん検診の器械を寄贈する話が進んでいます。国際奉仕委員会で進めていますが増井エレクトが中心となってやっておりますので皆さんにはご理解ご協力をお願いしたいと思います。

渡部 行光

